

# 夏期音楽講習会 2017 講師プロフィール

## 日本歌曲講座

### 小泉恵子 (こいずみ・けいこ)

東京藝術大学卒業、同大学院修士修了。在学中に芸大メサイアにてソプラノソロ、その後、米国サンフランシスコ音楽院に留学。帰国後、第1回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位(1990年)。山田耕筰賞、木下記念金メダル受賞。現在、宗教曲から日本歌曲、オペラ/オペレッタ、現代曲など国内外で幅広い演奏活動を行っている。 Санктペテルブルグのスマルヌイ音楽堂にて、オブラストワとジョイントリサイタル(伴奏:ゲルギエフ、1997年)。聴衆総立ちのスタンディング・オーヴェイションを受け、現地の各新聞批評にて絶賛された。マリンスキー劇場で開催された第1回エレナ=オブラストワ国際声楽コンクール(総裁:ゲルギエフ、1999年)の公式ゲスト・特別審査員。開会記念コンサートではゴルチャコワらと共演。第4回の同コンクールや、奏楽堂日本歌曲コンクール他の審査員も務めている。最近のCDは大中恩愛の歌曲集「こんな静かな晩は」/ヴォカリーズ集「サン・パロール」がビクター・エンターテインメントから、また、木下牧子歌曲集「心の歌をあなたへ」などが発売された。国立音楽大学・同大学院教授、演奏・創作学科長。青の会会員。



### 花岡千春 (はなおか・ちはる)

東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。同大学院ピアノ専攻科修了。

在学中よりNHK-FM放送、毎日新聞社主催「毎日ソリスト」などに出演。故安川加壽子女史に師事。大学院修了直後フランスに留学。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてコルトーの高弟ジャン・ミコー氏に師事。翌年、審査員全員一致の第一等首席を取得卒業。以後は同院のアシスタントとして後進の指導に当たりながら、ヨーロッパ各地で演奏。その後イタリアに居を移し、カセッラの高弟ピエロ・グワリーノ氏のもとで研鑽を積む。フィナレ・リグレ国際ピアノコンクール、マリオ・ザンフィ・リスト国際ピアノコンクール等に上位入賞。

帰国後は、ソロリサイタルをはじめ、室内楽や歌手との共演、CD録音、FM放送、テレビ放送に活躍。テーマ性の強いリサイタルは、各方面から評価を得ている。1999年開催した独奏会「パリ、祝祭と狂乱の1920年代」で第54回文化庁芸術祭音楽部門大賞を受賞。2011年9月発売のCD「日本の変奏曲」で平成23年度(第66回)文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。ソロCD9枚(ベルウッドレコード)、著書「ピアノを弾くということ。」(フィルムアート)、共演のCDは40枚以上を数える。楽譜の校訂(春秋社、音楽之友社)なども継続的に行っている。演奏活動と共に各地のコンクール審査員も歴任。2002年より文部科学省の新進芸術家海外派遣制度選考委員なども務めている。現在、国立音楽大学教授並びに同大学院教授。



# フルート講座

## 大友太郎（おおとも・たろう）

国立音大附属高等学校3年在学中に東京文化会館新進音楽家オーディションに最年少で合格。国立音大1年途中で渡独、パウル・マイゼン氏に師事。西ドイツ・デトモルト音楽院、ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラスで学ぶ。在独中バッハ研究の権威H.ヴィンシャーマン氏率いるドイツバッハゾリステンの一員として活躍。81'年プラハの春国際コンクールファイナリスト名誉賞及びチェコ現代作品最優秀演奏者賞受賞。82'年東独マルクノイキルヒェン国際音楽コンクールフルート部門邦人初の第1位受賞。現在、国立音大教授、国立音大附属高校講師、洗足学園音楽大

学、大学院客員教授として教鞭をとる傍ら、各地で後進の指導にあたり、数多くの個性ある優秀な人材を世に送り出している。また、びわ湖国際フルートコンクール審査委員長、日本フルートコンヴェンションコンクール、アジアフルートコンクール、三田ユネスココンクール、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、仙台フルートコンクール他、数多くの審査委員を歴任。一般社団法人日本フルート協会理事、アジアフルート連盟常任理事日本本部長。心に響くあたたかい音色とダイナミックな音楽性により「フルートの詩人」と称されている。



# ポップスアレンジ講座



## 武部聡志（たけべ・さとし）

音楽プロデューサー、作・編曲家。

国立音楽大学在学時より、キーボーディスト、アレンジャーとして数多くのアーティストを手掛ける。1983年より松任谷由実コンサートツアーの音楽監督を担当。一青窈、平井堅、JUJU等のプロデュース、NHK総合「プロフェッショナル 仕事の流儀」の番組主題歌の為に結成されたバンド・kōkuaのプロデュース&キーボード、CX系「MUSIC FAIR」「FNS歌謡祭」の音楽監督、テレビドラマの音楽やスタジオジブリ作品『コクリコ坂から』の音楽担当等、多岐にわたり活躍している。

# 合唱講座

## 源田俊一郎（げんだ・しゅんいちろう）

作曲家。本学教育 I 類を首席で卒業し岡本賞を受賞。作曲家寺島尚彦氏に師事。合唱祭、講習会の講師、コンクールの審査等をつとめるかたわらカワイ出版より編曲集「ふるさとの四季」「いつの日か」「ホームソングメドレー」など出版物多数。教育出版高校芸術科音楽教科書著者。趣味は料理、ガーデニングなど。本学客員教授。



## 永井 宏（ながい・ひろし）

ピアノを属澄江氏に、指揮法を高階正光氏に師事した。ピアニストとしての活動をする一方で、指揮者としても幅広い分野で演奏活動が続けているが、レパートリーの中心は宗教音楽。「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ」「メサイア」「天地創造」「聖パウロ」「エリア」等は得意とするところである。国立音楽大学教授。

# オペラ講座

## 河原忠之（かわはら・ただゆき）

幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある日本を代表する歌手や器楽奏者がその共演者に挙って指名する人気ピアニストであると同時に、オペラやコンサートの指揮者・プロデューサーとしても注目される存在。

国内外の第一線で活躍中の「太メン」男声オペラ歌手 4 人とのユニット、IL DEU のメンバー。

国立音楽大学卒業、同大学院修了。

国立音楽大学及び大学院准教授、新国立劇場オペラ研修所音楽主任講師。



IL DEU 公式ブログ <http://ameblo.jp/devudivo/>

©K.Miura



## 高橋薫子 (たかはし・のぶこ)

国立音楽大学卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンクール・シエナ大賞、没後 200 年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞。'91 年からミラノ留学。帰国後数々のオペラ公演に出演。新国立劇場では「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「セビリアの理髪師」「愛の妙薬」「沈黙」「鹿鳴館」等に出演したほか各地でのリサイタル、宗教曲、第九などオーケストラとの共演においても高い評価を得ている。

五島記念文化賞オペラ新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、ホテルオークラ音楽賞などを受賞。藤原歌劇団団員。現在国立音楽大学非常勤講師。

## 太田麻衣子 (おおた・まいこ)

早稲田大学卒業後渡独。バイエルン国立歌劇場やウィーン国立歌劇場にて演出助手として研鑽を積み、その功績によりバイエルン州より「ミュンヘンオペラ祭振興会芸術祭賞」を受賞。その後バイエルン国立歌劇場と専属演出助手として契約し、全ての新制作作品や日本公演に参加。2008 年に「魔笛」にて演出家としてデビュー。2010 年にはドイツ・ヘンフェンフェルトにて「魔笛」を演出し、ヨーロッパデビュー。その後、「ドン・ジョヴァンニ」「トスカ」「カルメン」等の古典オペラや、「こうもり」「メリー・ウイドウ」等のオペレッタのみならず、日本初演「ロビンソン・クルーソー」「シンデレラ」または、新作オペラ「JULIET」「三銃士」「幸福の王子」など様々な作品の演出を手掛けている。



# ピアノ講座

## クラシックピアノ講座



## 久元祐子 (ひさもと・ゆうこ)

東京芸術大学音楽学部（ピアノ専攻）を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、読売日本交響楽団など内外のオーケストラと多数共演。ブロードウッド（1820 年製ロンドン）、ベーゼンドルファー（1829 年製ウィーン）、プレイエル（1843 年製パリ）、エラール（1868 年製パリ）などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2012 年、2014 年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。CD12 作をリリース。「優雅なるモーツァルト」は毎日新聞 CD 特薦盤、レコード芸術特選盤。著書

に「ショパンとプレイエル・ピアノ」「リストとベーゼンドルファー・ピアノ」「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」（学研プラス）など多数。国立音楽大学教授 日本ラトビア音楽協会理事 ベーゼンドルファー・アーティスト

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

ピアノ指導者のための

## トレーニング・オブ・アナリーゼ講座Ⅰ・Ⅱ

### 鵜崎 庚一（うざき・こういち）

東京藝術大学作曲科卒業。作曲理論勉強のためフランス国立パリ高等音楽院留学。一等賞首席(フーガ)。国立音楽大学名誉教授、(社)日本作曲家協議会員、(社)日本音楽著作権協会員。[作品] 和声もまなぶピアノアルバム(音楽之友社)、144の新曲練習(カワイ出版)、おさらい会のためのピアノ小品集(レッスンの友社)、視唱73の練習曲(レッスンの友社)、ピアノ小曲集「風が歌う歌」(カワイ出版)、トレーニング・オブ・アナリーゼ=ブルクミュラー25練習曲(カワイ出版)、ピアノのための譚詩(JFC)、ピアノのための組曲「夢の国から」「オーバード」(カワイ出版)、「冬のもてこし」(全音楽譜出版社)等歌曲、吹奏楽のための「カマラード」(カワイ出版)、こどものためのピアノ曲集「そよ風が吹いてきたら」(カワイ出版)、女声合唱曲集「みづいろの風よ」、「日本の風景」=「女声合唱版・混声合唱版」(カワイ出版)、歌曲集「あるがままに」(カワイ出版)、「バッハ・インヴェンション」<アナリーゼの技法>「バッハ・シンフォニア」<アナリーゼの技法>「ソナチネアルバム」第1巻(クーラウ、クレメンティ)「ハイドン/モーツァルト/ベートーヴェン他」<アナリーゼの技法>「ショパン/ワルツ選Ⅰ」「ショパン/ワルツ選Ⅱ」「シューマン子供の情景」(学研パブリッシング) 他木管金管合奏曲、弦楽合奏曲等多数。



## ジャズピアノ講座Ⅰ・Ⅱ



### 椎名 豊（しいな・ゆたか）

国立音楽大学作曲学科卒業。1991年、ロイ・ハーグローブ(tp)と日米混合ユニット「ザ・ジャズ・ネットワークス」を結成。1996年「エルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャズ・マシーン」に参加。2003年よりチョン・ミョンフン、ヒュー・ウルフ、エリック・カンゼラらの指揮のもと、東京フィルハーモニー交響楽団と共演、定期演奏会に出演。ガーシュインのピアノ・コンチェルト他を発表。これまでに多くのリーダー・アルバムを発表、最優秀新人賞他、数々の賞を受賞。アメリカ、ヨーロッパのツアーも毎年、大成功をおさめている。縦横無尽にスイングする椎名のピアノタッチは唯一無二の個性とイメージネ

ーションにあふれ、世界中の音楽ファンを驚嘆させている。

# 作品分析講座

## 森垣桂一（もりがき・けいいち）

東京藝術大学作曲科卒業。1975年よりパリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第42回日本音楽コンクール作曲部門第1位受賞。第27回ヴィオッティ国際音楽コンクール作曲部門入賞。平成11年度芸術祭優秀賞受賞。1998年、サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科卒業。東京藝術大学、桐朋学園大学講師、東京学芸大学特任教授を歴任。現在、国立音楽大学および大学院教授。東京藝術大学非常勤講師。日本現代音楽協会理事。



# 総合ソルフェージュ講座



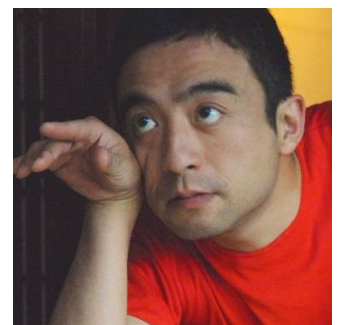
## 今村央子（いまむら・ひさこ）

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院ソルフェージュ科修了。伊藤国際教育交流財団の奨学金を得て渡仏。パリ国立高等音楽院エクリチュール科、ピアノ伴奏科卒業。作曲家としての活動はもとより、ピアノ・リサイタル、レクチャー・コンサート、伴奏、新作初演、雑誌連載、著書出版等、マルチ・ミュージシャンとして独自の活動を展開。現在、国立音楽大学教授、日本ソルフェージュ研究協議会理事。

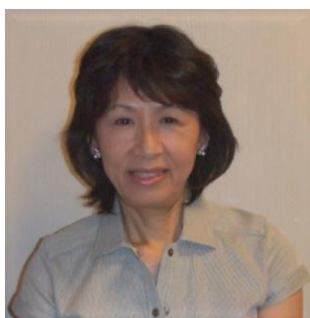
# リトミック講座

## 新井英夫（あらい・ひでお）

野口体操指導者・体奏家・ダンスアーティスト。自然に学び「力を抜く」身体メソッド・自然哲学である野口体操を創始者野口三千三氏から学び深い影響を受ける。国内外での公演活動とともに、教育や福祉等の現場で乳幼児から高齢者まで幅広い対象に向けたバリアフリーな身体表現ワークショップを各地で展開中。過去に山形大学・天理医療大学、現在、国立音楽大学にて非常勤講師。（一財）地域創造「公共ホール現代ダンス活性化支援事業」登録アーティスト。



©森木隆之



## 石丸由理 (いしまる・ゆり)

国立音楽大学卒業。ロンドンにて、ダルクローズ・リトミック 国際ライセンス取得。

ニューヨーク大学修士課程修了。

ユリ・リトミック教室主宰 <http://www.yuri-rhythmic.com/>

各地でリトミック・プログラムを展開。NHK 教育テレビ音楽番組制作を担当。

現在くみんな DE どーもくん！>制作スタッフ

国際幼児教育学会常任理事。日本音楽著作権協会 JASRAC 正会員

## 稲村なおこ (いなむら・なおこ)

国立音楽大学卒業後、NHK 教育 TV「ワンツー・どん」歌のお姉さんとして4年間レギュラー出演。全国展開の『稲村なおこ心を紡ぐ3世代ファミリーコンサート』は、持前のシルキーボイスの魅力と確かな歌唱、“春風のように温かく自由な人柄”で好評を得ている。代表作のCMソングに「救心」「脱臭炭」ほか。尾瀬の郷親善大使。第1回すこやか音楽大賞最優秀新人賞、第28回日本童謡賞特別賞など受賞。歌の会・なおちビレッジ主宰。



## 井上恵理 (いのうえ・えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。ジュネーヴ・ジャック=ダルクローズ音楽院卒業。(ダルクローズライセンス、ディプロマ取得)その後、同音楽院にて専門コースのリトミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーヴ高等音楽院で即興演奏の講師をつとめる。現在、国立音楽大学准教授。玉川大学非常勤講師。日本ジャック=ダルクローズ協会副会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部講師。「リズムの森」総合指導主任他。

## 大友太郎（おおとも・たろう）

国立音大附属高等学校3年在学中に東京文化会館新進音楽家オーディションに最年少で合格。国立音大1年途中で渡独、パウル・マイゼン氏に師事。西ドイツ・デトモルト音楽院、ミュンヘン国立音楽大学マイスタークラスで学ぶ。在独中バツハ研究の権威H.ヴィンシャーマン氏率いるドイツバツハゾリステンの一員として活躍。81'年プラハの春国際コンクールファイナリスト名誉賞及びチェコ現代作品最優秀演奏者賞受賞。82'年東独マルクノイキルヒェン国際音楽コンクールフルート部門邦人初の第1位受賞。現在、国立音大教授、国立音大附属高校講師、洗足学園音楽大学、大学院客員教授として教鞭をとる傍ら、各地で後進の指導にあたり、数多くの個性ある優秀な人材を世に送り出している。また、びわ湖国際フルートコンクール審査委員長、日本フルートコンヴェンションコンクール、アジアフルートコンクール、三田ユネスココンクール、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、仙台フルートコンクール他、数多くの審査委員を歴任。一般社団法人日本フルート協会理事、アジアフルート連盟常任理事日本本部長。心に響くあたたかい音色とダイナミックな音楽性により「フルートの詩人」と称されている



## 神原雅之（かんばら・まさゆき）

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類（リトミック専攻）卒業、広島大学大学院学校教育研究科修了（教育学修士）。現在、国立音楽大学教授。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、リトミック研究センター理事、他。

著書：「幼児のための音楽教育」（教育芸術社）、「子どものためのリトミック de 発表会」、「世界の歌を遊ぶリトミックゲーム 67 選」、「リズム&アクションでつくる音楽鑑賞の授業」、「リズム&ビートにどっぷり！リトミック 77 選」（以上、明治図書）他多数。

## 北大路範子（きたおおじ・のりこ）

国立音楽大学教育学科リトミック専攻卒業。

国立音楽大学教育音楽学科リトミック専攻卒業。

酒井徹氏に師事し、カーネギーメロン大学（米）よりダルクローズ・リトミック国際サーティフィケート及びダルクローズ・リトミック国際ライセンス取得。

その後も国内、海外の講習会で研鑽を積む。現場での経験を活かした子供へのアプローチが好評で、各地で講習会講師として活躍中。キャロル・リトミックスクール主宰。浜松ダルクローズ研究会講師。





### 坂本真理子 (さかもと・まりこ)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類（リトミック専攻）卒業。リトミック音楽教室「子供の庭」主宰。NHK文化センター「教師のためのリトミック」講座講師。NHK教育テレビ、学校放送でリトミックを担当、作詞、作曲と番組制作委員を務める。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2009～2011年「キッズプログラム」の講師を務める。現在、全日本リトミック音楽教育研究会常任理事、本部指導講師。著書：「こんにちは！リトミック」「こんにちは！リトミック さあはじめよう」（オブラパブリケーション）

### 塩原麻里 (しおばら・まり)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類（リトミック専攻）卒業、ロンドン・ダルクローズスクール修了（リトミック国際ライセンス取得）、ロンドン大学教育研究所博士課程修了（音楽教育学 Ph.D）。九州ルーテル学院大学助教授、東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学教授。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、ISME・CMA コミッション、アジア・パシフィックコミュニティ音楽ネットワーク設立メンバー。研究分野は音楽と動き、日英音楽教育比較、音楽の文化アイデンティティ、他。東洋英和女学院大学大学院、弘前大学、東京学芸大学 非常勤講師。



### 清水あずみ (しみず・あずみ)

ボストン・ロンジー音楽院大学院リトミック専攻修士課程修了。同ピアノ専攻修士課程修了。ダルクローズ国際サーティフィケート及びダルクローズ国際ライセンス取得。ボストンの音楽学校やプリスクールでリトミックを指導した後、帰国。日本でも幼稚園や音楽教室、専門学校などで子どもから大人までリトミックを教える。現在、国立音楽大学非常勤講師、関東学院大学非常勤講師、「リズムの森」講師。日本ダルクローズ音楽教育学会会員、日本ジャック=ダルクローズ協会理事。

## 杉山智恵子（すぎやま・ちえこ）

東京藝術大学卒業。打楽器奏者。東京藝術大学講師。日本打楽器協会理事。日本ジャック＝ダルクローズ協会理事。東京吹奏楽団団員。プロフェッショナルな演奏家の立場からダルクローズリトミックの有用性を提唱し、多くの音楽大学・教育機関に招聘され、リトミックと打楽器を融合させたコンサートや特別講座を国内外にて精力的に展開している。



## 丹原 要（たんばら・かなめ）

岡山市出身。フランス音楽コンクール＝関西（2004年）において第1位。NHK 高校講座音楽I（2013年度）において伴奏アシスタントを勤める。筑波大学附属桐が丘特別支援学校非常勤講師、日本ダルクローズ音楽教育学会会員。ジャック＝ダルクローズ作品研究会メンバー。音楽講師、合唱団の伴奏を務める傍ら、ダルクローズ作品の演奏や研究、語りと音楽のための作品の上演に力を入れている。

## 中明佳代（なかあき・かよ）

1997年国立音楽大学音楽教育学科リトミック専攻卒業後、2000年スイス、ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院に留学。2002年にリトミック国際ライセンス取得、2007年にディプロムを取得。同時期にジュネーヴ音楽大学の作曲科にも在籍し、2008年作曲ディプロムを取得。2010年日本帰国まで、スイスで子どもから大人までのリトミックのクラスを指導。現在、国立音楽大学非常勤講師、「リズムの森」講師。日本ダルクローズ音楽教育会会員、日本ジャック＝ダルクローズ協会理事。



## 馬淵明彦（まぶち・あきひこ）

1969年国立音楽大学教育音楽学科リトミック専攻卒業。1983年ジュネーヴ・ジャック＝ダルクローズ音楽院にてリトミック国際ライセンス、翌年同ディプロマを取得。1999年～2002年日本ジャック＝ダルクローズ協会会長。現在、ジュネーヴ・リトミック国際大会講師、「Studio Jaques」代表、NHK ラジオ高校講座「音楽I」担当・出演、日本ジャック＝ダルクローズ協会理事、日本ダルクローズ音楽教育学会会員。日本ソルフェージュ研究協議会正会員。ジャック＝ダルクローズ作品研究会代表。

# 音楽科教育講座

(兼教員免許状更新講習)

## 足本憲治 (あしもと・けんじ)

室内楽、電子音響音楽作品を中心とした自作品の発表の他、映画・TVの音楽におけるオーケストレーション、オペラの小規模上演やCD/コンサート用楽曲など、編曲多数。全幕の編曲を担当した《オルフェオとエウリディーチェ》ではその清新な手腕が高く評価され、「第9回 三菱UFJ信託音楽賞奨励賞」を受賞。現在、国立音楽大学准教授。日本作曲家協議会、先端芸術音楽創作学会会員。



## 新谷祥子 (あらや・しょうこ)

国立音楽大学卒業時に武岡賞受賞。アジア文化交流基金により渡米。ミシガン大学打楽器パフォーマンスで修士課程終了。

打楽器奏者としての演奏活動は多岐に及ぶ。2010年よりオリジナル詞曲による弾き唄いマリンバのCDをリリース。文化庁「次代を担う子どもの芸術体験事業」の派遣講師としてワークショップを展開。現在、高校生の音楽教科書に作品が掲載中。国立音楽大学非常勤講師。

## 井上恵理 (いのうえ・えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。ジュネーヴ・ジャック=ダルクローズ音楽院卒業。(ダルクローズライセンス、ディプロマ取得)その後、同音楽院にて専門コースのリトミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーヴ高等音楽院で即興演奏の講師をつとめる。現在、国立音楽大学准教授。玉川大学非常勤講師。日本ジャック=ダルクローズ協会副会長、全日本リトミック音楽教育研究会本部講師。「リズムの森」総合指導主任他。





## 今藤長龍郎 (いまふじ・ちょうたつろう)

1969 年生まれ。1979 年今藤綾子師に入門。1985 年今藤長龍郎の名を許される。1991 年東京藝術大学邦楽科長唄三味線専攻卒業。以後、国立劇場、歌舞伎座、紀尾井ホール公演、NHK 等に出演。2014 年スイス・ハンガリー・ポーランドにて国際交流基金主催「歌舞伎舞踊と素浄瑠璃」タテ三味線を勤める。作曲も手掛けており、「うれしやかぶき」(NHKE テレにほんごであそぼ、2010 年)、「鯉つかみ」「獅子王」(市川染五郎ラスベガス歌舞伎公演、2016 年)等がある。国立音楽大学非常勤講師。

## 今村 能 (いまむら・ちから)

カラヤンが見出した希有の才能 世界のオペラ舞台でも活躍。カラヤン・コンクール・ジャパンに入賞、ミラノ・カンテッリ指揮者コンクール、ザルツブルク指揮者講習会ファイナリスト、フィテルベルク指揮者コンクール優勝。カラヤン、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、高階正光、フェッラーラ各氏に師事。ベルリン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ウィーン管楽合奏団等を指揮。ポーランド国立歌劇場常任指揮者、OE金沢専属指揮者を歴任。イタリア・オランダの歌劇場、新国立劇場で指揮。尚美学園大学客員教授、国立音楽大学指揮法講師、フィルハーモニア多摩音楽監督



## 久保田慶一 (くぼた・けいいち)

東京藝術大学音楽学部、同大学大学院修士課程を修了。1999 年、東京藝術大学より「博士(音楽学)」を授与。ドイツ学術交流会の奨学生として、ドイツ連邦共和国のフライブルク大学、ハンブルク大学、ベルリン自由大学に留学。現在、国立音楽大学教授・副学長。著書に、「バッハキーワード事典」(春秋社)、「エマヌエル・バッハ」(東京書籍)など、多数。

## 酒井美恵子 (さかい・みえこ)

国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。東京都の公立中学校教諭及び指導主事を経て 2005 年度より国立音楽大学にて教職科目を担当。著作等として「リトミックでつくる楽しい音楽授業」(共著：明治図書)、「小学校音楽 魔法の5分間アクティビティ」(編著：明治図書)、「音楽授業でアクティブ・ラーニング 子ども熱中の鑑賞タイム」(共著：明治図書)など。ねらいの明確な楽しい授業を現場の先生方と一緒に具体的に考えていくことに意欲をもっている。



## 塩原麻里 (しおばら・まり)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類(リトミック専攻)卒業、ロンドン・ダルクローズスクール修了(リトミック国際ライセンス取得)、ロンドン大学教育研究所博士課程修了(音楽教育学 Ph.D)。九州ルーテル学院大学助教授、東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学教授。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、ISME・CMA コミッション、アジア・パシフィックコミュニティ音楽ネットワーク設立メンバー。研究分野は音楽と動き、日英音楽教育比較、音楽の文化アイデンティティ、他。東洋英和女

学院大学大学院、弘前大学、東京学芸大学 非常勤講師。

## 鈴木恵子 (すずき・けいこ)

国立音楽大学教育音楽学科卒業後、都立特別支援学校教諭を経て、都立村山特別支援学校副校長、同校主幹(再任用)を歴任。わらべうたやブラックライトシアターやパペット等を取り入れ、聴覚だけでなく視覚でも楽しむ音楽づくりを得意とする。現在、立川市教育委員会事務局教育部教育支援課教育支援相談員。





### 津田正之 (つだ・まさゆき)

北海道生まれ。東京学芸大学連合学校教育学研究科（博士課程）芸術系教育講座単位取得満期退学。博士（音楽）。北海道公立小学校教諭，琉球大学教育学部准教授等を経て，平成22年4月より国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官並びに文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。音楽教育に関する調査研究や指導資料の作成などを行う。近年は沖縄の音楽教育史を研究している。

### 福田 隆 (ふくだ・たかし)

東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。同大学院修了。

1973年以降、パーカッショングループ72のメンバーとして打楽器音楽の普及に努め、新作の委嘱、初演等を行う。1976年以降、NHK交響楽団を始めとする在京のオーケストラ、室内楽、現代音楽祭等で打楽器奏者として活動。その後九州に活動の拠点を移し、熊本ユースシンフォニーオーケストラの指導者に就任。以後、九州内のオーケストラ、吹奏楽団、アンサンブル等の指揮者、トレーナーを務める。1986年ベルリンフィルハーモニーオーケストラ・カラヤンアカデミー留学。1993年熊本市人づくり基金を得て、ザルツブルグ・モーツァルテウム・オルフ研究所留学。現在、国立音楽大学教授。



### 丸山智子 (まるやま・さとこ)

東京都目黒区立田道小学校校長。国立音楽大学教育音楽学科第I類卒業。東京都公立中学校教諭、小学校教諭及び東京都教職員研修センター指導主事を経て現職。日本学校音楽教育実践学会に所属。児童の主体的な音楽活動を支援するコンピュータの活用をテーマにした研究、授業実践を得意とする。

### 山本幸正 (やまもと・ゆきまさ)

国立音楽大学教授・音楽文化教育学科長。東京都立高等学校教諭、東京都立教育研究所指導主事、洗足学園音楽大学教授を経て、現職。教育出版高等学校音楽教科書著者(1985～1995年、1998年～現在)。全日音研大学部会常任理事。日本民俗音楽学会事務局長。日本音楽教育学会理事。日本学校音楽教育実践学会会員。中学校・高等学校の指導内容・方法の開発を得意とする。



# 音楽基礎理論講座

## I 楽典



### 岩河智子 (いわかわ・ともこ)

国立音楽大学作曲科首席卒業、同大学院音楽理論科修了。東京と札幌で、音楽理論による演奏指導・講習会を多数開催。特に札幌室内歌劇場の音楽監督として25年に渡り音楽理論に立脚したオペラ作りを展開。作曲家としては、オペラ「青い鳥」「小人の靴屋」合唱組曲「かなしいおとなのうた」「おとなのための童謡曲集」など多数の作品がある。国立音楽大学・大学院非常勤講師、札幌室内歌劇場音楽監督。

## II 和声

### 森垣桂一 (もりがき・けいいち)

東京藝術大学作曲科卒業。1975年よりパリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第42回日本音楽コンクール作曲部門第1位受賞。第27回ヴィオッティー国際音楽コンクール作曲部門入賞。平成11年度芸術祭優秀賞受賞。1998年、サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科卒業。東京藝術大学、桐朋学園大学講師、東京学芸大学特任教授を歴任。現在、国立音楽大学および大学院教授。東京藝術大学非常勤講師。日本現代音楽協会理事。



## III 対位法とコラール



### 市川景之 (いちかわ・かげゆき)

東京藝術大学作曲科卒業。パリ音楽院（和声・対位法・フーガ・管弦楽法）を一等賞で卒業。

マルセル・ビッチュ氏のパリヤマハでの分析講座ではアシスタントも務める。

またエコールノルマル音楽院室内楽科（歌曲伴奏）卒業。

東京藝術大学非常勤講師（作曲・ソルフェージュ）、本学客員准教授。

日本作曲家協議会、日本ソルフェージュ研究協議会、日本フォーレ協会他会員。